

星の子通信 2

～チーム星宮小のみなさんへ～

R元年.10.2. No.7

文責 新井麻起



先生方の活躍ぶりや授業等の様子、先生方へのメッセージを載せています。

本校では、学校研究課題として、主題「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善～「見方・考え方」を働かせた「深い学び」への指導方法の工夫～に取り組んでいます。

校内授業研究の2回目として、10月28日（月）に 矢野間 明子 教諭による1年の国語科の授業が公開されました。



1年 矢野間 明子 教諭 教科 国語 単元名「のりものをしょうかいしよう」

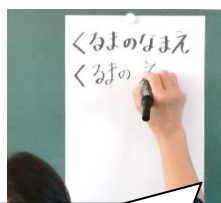
【乗り物への関心を高める】

本時は、自分が好きな乗り物を紹介するカードをつくるために「やくわり」と「つくり」についての文章や言葉を捜したり、「ですから」という接続語の言葉の働きを踏まえ、説明文を読むことができる力を育む。



乗り物の映像を見せ、名前をあてさせたり、どんな働きをするのかもいくつか答えさせたりしながら乗り物への関心を高める。

【紹介に必要なこと】



乗り物を紹介するにはどんなことが書いてあったら分かりやすいか考えさせる。

【音声だけの聴き取り】



音声だけ流し、どんな言葉があったか、聞き取らせ、児童から出た言葉を乗り物の名前は白い紙に、「やくわり」はピンク、「つくり」は水色、「はたらいているすがた」は黄色の紙に書く。

【正しい写真になるよう友達と交換】



乗り物の写真を配り、ワークシートに並べるよう指示する。ここで教科書にだけある乗り物に注目させるために、教科書に無いものや、同じものを2つ入れたものを配布する。児童は互いに話し、交換し合いながら正しい写真をそろえる

【正しい順に貼り、名前を書く】



教科書に出てくる順に写真を並べる。



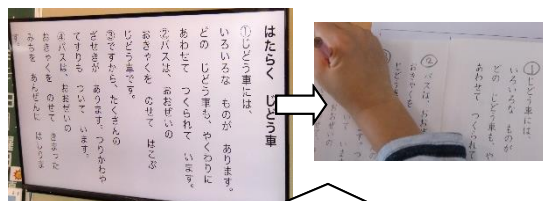
写真のしたに乗り物の名前を書く。写真と名前が合っているか友だちと確認し合う。

【言葉の整理】



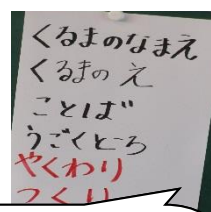
はじめに聴き取った色分けされた言葉の短冊を活用し、「やくわり」や「つくり」「はたらいているすがた」に分け、並べ替える。

【段落や「やくわり」の確認】



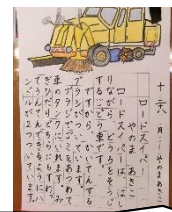
大型モニターで示されている段落の番号を教科書に書き入れたり、「やくわり」の言葉が書かれてある場所に線を引かせている。

【次時の学習の確認】



次時の学習は、それぞれの乗り物の「やくわり」と「つくり」を見つけることを伝え、見通しを持たせる。

【見通しをもたせる】



紹介カードを見せることで最終的な目標が見え、児童が見通しをもてるようにしている。